

練馬区高齢者基礎調査

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、高齢者の方々から、日頃の生活状況や区の高齢者施策に対するご意見・ご希望等をお聞きするため実施するものです。

調査の対象者として、区内にお住まいの要介護認定を受けていない65歳以上の方々から2,300人、55～64歳の方々から800人を無作為で選び、調査票を送らせていただきました。なお、**調査票にはお名前を書き必要はありません。**

ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみに使用します。個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしませんので、ご協力いただけますようお願いいたします。

平成25年11月 練馬区

この調査票はどなたが記入されますか。(○は1つ)

- 1 あて名のご本人が自分一人 で記入
- 2 あて名のご本人に聞いて家族や介護者が代筆して記入
- 3 あて名のご本人の意向を考えながら家族や介護者が記入
(あて名のご本人からみた続柄: _____)
- 4 その他の方が記入 (具体的に書きください。)

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

● 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。

● 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。

● 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人おひとりの回答がむずかしい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞いた上で代わりにご記入ください。
(調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。)

★ 対象者ご本人が不在や体調などの何らかの事情により回答できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

- | | |
|--------------------|-------|
| 1 入院・入所中で意思表示ができない | 3 その他 |
| 2 転居 | |

● ご記入いただいた調査票は、**12月10日(火)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

● この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

● この調査は、練日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。
【調査委託元】練馬区 健康福祉事業本部 福祉部 高齢社会対策課 計画係
【調査実施・問い合わせ先】

練日本能率協会総合研究所 社会政策研究部 担当:田中、政岡
電話:03-3578-7519(直通)

問13 今後、あなたのお住まいの中で、改修をしたいところはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1 廊下・階段にすすりをつけたい	2 玄関や室内の段差をなくしたい
3 床などに滑り止めをつけたい	4 引き戸にしたい
5 寝室の近くにトイレを作りたい	6 脱衣場やトイレに暖房を入れたい
7 台所・洗面所などを使いやすくしたい	8 家具転倒防止器具をつけたい
9 浴室を使いやすくしたい	10 その他 ()
11 特に改修したいところはない	

問14 あなたは、ケア付き住まい(介護サービスはないが、安否確認や食事・お風呂の用意などのサービスが提供される住まい)に入居したいと思いませんか。(○は1つ)

1 入居したい	2 将来、必要があれば入居したい
3 入居したくない	4 その他 ()

問15 ケア付き住まいに入居する場合、家賃・食事・光熱水費・サービス提供などの費用負担の合計額はいくらまでだったら良いですか。(○は1つ)

1 月 10 万円程度	2 月 15 万円程度	3 月 20 万円程度
4 月 25 万円程度	5 その他 ()	

問16 あなたは、将来に対してどのようなことに不安がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 健康 (自分や家族が介護を必要とする状態になることなど)
2 生計 (経済的に苦しくなることなど)
3 防犯・防災 (災害時の避難場所がわからないなど)
4 住居 (老朽化、バリアフリーでないなど)
5 家族・親族との関係 (連絡を取り合っていないなど)
6 隣近所との関係 (困ったときに助け合える間柄でないなど)
7 預貯金等の管理
8 ひとりぐらしになること
9 老後への漠然とした不安
10 その他 ()
11 不安なことはない

◆健康や介護予防についてお聞きします。

問17 現在、病院・医院(診療所・クリニック)への受診はどのようになっていますか。(○は1つ)

1 通院している	2 通院と往診の両方を利用している
3 訪問診療・往診を利用している	4 受診していない (→問18へ進む)

(問17で、1～3とお答えの方におたずねします。)

問17-1 どのくらいの頻度で、病院・医院(診療所・クリニック)を受診していますか。(○は1つ)

1 週1回以上	2 月2～3回
3 月1回程度	4 2か月に1回程度
5 3か月に1回程度	6 その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問18 あなたは、今後介護を必要とする状態にならないようにするために(または状態が悪くならないようにするために)、介護予防に取り組んでいますか。(○は1つ)

1 意識して取り組んでいる
2 体力が落ちてきたら取り組みたい
3 もう少し歳をとってから取り組みたい
4 きっかけがあれば取り組みたい
5 興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない
6 その他 ()
7 興味・関心は特にない

問19 あなたは、今後介護を必要とする状態にならないようにするために(または状態が悪くならないようにするために)、つぎのようなサービスを利用したいと思いませんか。
(あてはまるものすべてに○)

1 保健師等によるアドバイス
2 ストレッチ、筋力向上トレーニング、バランス運動を行う教室
3 口腔衛生や口の体操などの教室
4 効率的な栄養摂取等を習得するための教室
5 認知症を予防するための教室
6 上記(1～5)で利用してみたいものはない

問20 つぎのサービスのサービスの中で、利用したいものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 定期的な電話や訪問などで安否確認をする見守りサービス
2 家事や通院などを手伝ってもらうサービス
3 緊急時に、無線発信機による通報で駆けつけてもらうサービス
4 緊急時に、介護施設や病院へ短期間入所(入院)できるサービス
5 杖やシルバーカーなど、生活に必要な用具を支給してもらえるサービス
6 自宅への配食などの食事サービス
7 介護予防・認知症予防のための講座が受けられるサービス
8 特にない

◆地域のつながりについてお聞きします。

問 26 日ごろ隣近所の人と、どの程度お付き合いをしていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-----------------|---|-------------------|
| 1 | 何かあったときに助け合える関係 | 2 | 互いに訪問しあう関係 |
| 3 | 立ち話をする程度 | 4 | あいさつをする程度 |
| 5 | ほとんど付き合いはない | 6 | どんな人が住んでいるのかわからない |

問 27 近所付き合いや地域住民の交流について、どの程度必要だとお考えですか。(○は1つ)

- | | |
|---|------------------------------|
| 1 | ふだんからの交流は必要だ |
| 2 | 多少面倒でもふだんから交流しておいた方がよい |
| 3 | 日ごろの交流は面倒なのであまりしたくない |
| 4 | 助け合いは必要だと思わないが、地域で交流することは大切だ |
| 5 | 気の合った仲間やグループで交流し、その中で助け合えばよい |
| 6 | 地域での助け合いや日ごろの交流は必要ない |
| 7 | その他 () |

問 28 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。(○は3つまで)

- | | | | |
|----|--------------|----|---------------|
| 1 | 安否確認など | 2 | 趣味など世間話の相手 |
| 3 | 介護などの相談相手 | 4 | 炊事・洗濯・掃除などの家事 |
| 5 | ちよっととした買い物 | 6 | 子どもの預かり |
| 7 | 外出の付添い | 8 | 災害時の手助け |
| 9 | ゴミ出し・雨戸の開け閉め | 10 | 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 11 | その他 () | 12 | 特にない |

問 29 (高齢者のみならず)地域住民が安心して暮らすことができよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(○は3つまで)

- | | | | |
|----|--------------|----|---------------|
| 1 | 安否確認など | 2 | 趣味など世間話の相手 |
| 3 | 介護などの相談相手 | 4 | 炊事・洗濯・掃除などの家事 |
| 5 | ちよっとした買い物 | 6 | 子どもの預かり |
| 7 | 外出の付添い | 8 | 災害時の手助け |
| 9 | ゴミ出し・雨戸の開け閉め | 10 | 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 11 | その他 () | 12 | 特にない |

◆介護についてお聞きします。

問 30 あなたが日常生活を送るうえで介護が必要になった場合、どのようにしたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---|--|
| 1 | 自宅で介護保険のサービスを利用しながら暮らしたい |
| 2 | 自宅で介護保険のサービスを利用しないで家族からの介護を中心に暮らしたい |
| 3 | 特別養護老人ホームなどの介護施設に入所したい |
| 4 | 有料老人ホームに入居したい |
| 5 | ケア付き住まい(介護サービスはないが、安否確認や食事・お風呂の用意などのサービスが提供される住まい)に入居したい |
| 6 | その他 () |
| 7 | わからない |

問 31 介護保険料は、区全体の介護サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに決まります。介護保険のサービスと保険料の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○は1つ)

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | 保険料が今より高くなってても、施設や在宅サービスの量を増やす方がよい |
| 2 | 施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とする |
| 3 | サービスの量が低下しても、保険料は安い方がよい |
| 4 | わからない |

問 32 あなたは、介護保険料についてどのように感じていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------------|---|----------|
| 1 | 負担と感じる | 2 | 多少負担と感じる |
| 3 | それほど負担とは感じない | 4 | 負担とは感じない |
| 5 | どちらともいえない | 6 | わからない |

問 33 あなたは、脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期療養が必要になった場合、病院等への入院・入所はしないで、自宅で生活したいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---|---------|---------------|
| 1 | そう思う | } (→問 34 へ進む) |
| 2 | そう思わない | |
| 3 | わからない | |
| 4 | その他 () | |

(問 33 で、「1 そう思う」とお答えの方におたずねします。)

問 33-1 あなたは、在宅での療養は実現可能だと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---|---------|---------------|
| 1 | 難しいと思う | } (→問 34 へ進む) |
| 2 | 可能だと思う | |
| 3 | わからない | |
| 4 | その他 () | |

(問 33-1 で、「1 難しいと思う」とお答えの方におたずねします。)

問 33-2 それなぜですか。(○は3つまで)

1	家族等に負担をかけるから
2	急に病状が変わったときの対応が不安だから
3	在宅でどのような医療や介護を受けられるかわからないから
4	療養できる居住環境が整っていないから
5	介護してくれる家族がいないから
6	在宅医療や介護のサービス体制が整っていないから
7	その他 ()

◆**区の保健福祉施策についてお聞きます。**

(すべての方におたずねします。)

問 34 あなたは、何歳以上が高齢者だと思いますか。(○は1つ)

1	60 歳以上	2	65 歳以上	3	70 歳以上
4	75 歳以上	5	その他 ()		

問 35 あなたは、高齢者相談センター(地域包括支援センター)をご存知ですか。(○は1つ)

1	現在利用している
2	利用したことがある
3	名前は知っているが、利用したことはない
4	知らない

問 36 もし、あなたの周囲で高齢者の虐待がわかったら、どこに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

1	家族・親族	2	知人・友人
3	警察	4	医療機関
5	高齢者相談センター	6	総合福祉事務所 (区役所)
7	その他 ()	8	わからない

問 37 あなたは、高齢者の虐待を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1	介護される側と介護する側の相互理解の促進
2	地域における見守りやふだんからの声かけ
3	気軽に相談できる窓口の充実
4	介護に関する情報提供の充実
5	認知症に関する理解の促進
6	介護サービスの充実
7	介護する家族同士の集い
8	介護者がリフレッシュできる機会の充実
9	経済的な支援
10	その他 ()

問 38 あなたやご家族が認知症ではないかと感じたとき、どこに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

1	家族・親族	2	知人・友人
3	かかりつけ医	4	精神科などの専門医
5	ケアマネジャー	6	介護家族の会などの集まり
7	民生委員	7	高齢者相談センター
9	保健相談所	10	社会福祉協議会
11	その他 ()	12	相談しない

問 39 あなたは、認知症に関わる施策として、どのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

1	認知症の兆候を早期に見てできる仕組みづくり
2	認知症について正しい知識を得るための講習会や情報提供
3	地域での見守りなど、日常的な支え合い
4	本人や介護している家族が安心できる相談先や居場所の整備
5	認知症高齢者グループホームの整備など、介護サービスの充実
6	介護している家族の負担の軽減
7	認知症予防についての講習会や情報提供
8	認知症になりにくい健康づくり
9	介護保険制度や成年後見制度、介護サービスなどに関する情報提供
10	権利擁護センター「ほっとサポートねりま」からの支援
11	その他 ()
12	特にない

問 40 あなたは、健康や保健福祉に関する知識・情報を何から得ていますか。(○は3つまで)

1	ねりま区報
2	練馬区ホームページ
3	高齢者相談センター(地域包括支援センター)
4	「わたしの便利帳」高齢者の生活ガイド」など区の刊行物
5	高齢者向けホームページ「シニア ナビ ねりま」
6	社会福祉協議会の相談窓口
7	回覧板・掲示板
8	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
9	インターネット
10	家族・友人
11	病院などの医療機関
12	その他 ()
13	特にない

練馬区高齢者基礎調査

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。
 区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。
 この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、
 高齢者の方々から、日頃の生活状況や区の高齢者施策に対するご意見・ご希望等をお聞き
 するため実施するものです。

調査の対象者として、区内にお住まいの要介護認定を受けている 65 歳以上の方々から
 2,700 人を無作為で選び、調査票を送付させていただきました。なお、**調査票にはお名前
 を書く必要はありません。**

ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみを使用します。個人が特定される形での
 公表や、他の目的での使用はいたしませんので、ご協力いただけますようお願いいたしま
 す。

平成 25 年 11 月 練馬区

この調査票はどなたが記入されますか。(○は1つ)

- 1 あて名のご本人が自分一人で記入
- 2 あて名のご本人に聞いて家族や介護者が代筆して記入
- 3 あて名のご本人の意向を考えながら家族や介護者が記入
 (あて名のご本人からみた続柄：_____)
- 4 その他の方が記入 (具体的に書きください。)

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

● 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるもの
 すべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記
 入いただく質問もあります。

● 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、()内になるべく具体的にその内容を
 ご記入ください。

● 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人おひとりの回答
 がむずかしい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞い
 た上で代わりにご記入ください。
(調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。)

★ 対象者ご本人が不在や体調などの何らかの事情により回答できない場合には、下の
 枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

- | | |
|--------------------|-------|
| 1 入院・入所中で意思表示ができない | 3 その他 |
| 2 転居 | |

● ご記入いただいた調査票は、**12月10日(火)まで**に、同封の返信用封筒
 にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

● この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

● この調査は、練日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。調査について
 のお問い合わせは、下記までお願いいたします。
 【調査委託元】練馬区 健康福祉事業本部 福祉部 高齢社会対策課 計画係
 【調査実施・問い合わせ先】

練日本能率協会総合研究所 社会政策研究部 担当：田中、政岡
電話：03-3578-7519(直通)

問13 今後、あなたのお住まいの中で、改修をしたいところはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 廊下・階段に手すりをつけたい	2 玄関や室内の段差をなくしたい
3 床などに滑り止めをつけたい	4 引き戸にしたい
5 寝室の近くにトイレを作りたい	6 脱衣場やトイレに暖房を入れたい
7 台所・洗面所などを使いやすくしたい	8 家具転倒防止器具をつけたい
9 浴室を使いやすくしたい	10 その他 ()
11 特に改修したいところはない	

問14 あなたは、ケア付き住まい(介護サービスはないが、安否確認や食事・お風呂の用意などのサービスが提供される住まい)に入居したいと思いませんか。(○は1つ)

1 入居したい	2 将来、必要があれば入居したい
3 入居したくない	4 その他 ()

問15 ケア付き住まいに入居する場合、家賃・食事・光熱水費・サービス提供などの費用負担の合計額はいくらまでだったら良いですか。(○は1つ)

1 月 10 万円程度	2 月 15 万円程度	3 月 20 万円程度
4 月 25 万円程度	5 その他 ()	

問16 あなたは、将来に対してどのようなことに不安がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 健康 (自分や家族が介護を必要とする状態になることなど)
2 生計 (経済的に苦しくなることなど)
3 防犯・防災 (災害時の避難場所がわからないなど)
4 住居 (老朽化、バリアフリーでないなど)
5 家族・親族との関係 (連絡を取り合っていないなど)
6 隣近所との関係 (困ったときに助け合える間柄でないなど)
7 預貯金等の管理
8 ひとり暮らしになること
9 老後への漠然とした不安
10 その他 ()
11 不安なことはない

◆健康や介護予防についてお聞きします。

問17 現在、病院・医院(診療所・クリニック)への受診はどのようにされていますか。(○は1つ)

1 通院している	2 通院と往診の両方を利用している
3 訪問診療・往診を利用している	4 受診していない (→問18へ進む)

(問17で1～3とお答えの方におたずねします。)

問17-1 その頻度は、つぎのどれですか。(○は1つ)

1 週1回以上	2 月2～3回
3 月1回程度	4 2か月に1回程度
5 3か月に1回程度	6 その他 ()

(要支援1、要支援2の方におたずねします。それ以外の方は問21へお進みください。)

問18 あなたは、今後介護を必要とする状態にならないようにするため(または状態が悪くならないようにするため)、介護予防に取り組んでいますか。(○は1つ)

1 意識して取り組んでいる
2 体力が落ちてきたら取り組みたい
3 もう少し歳をとってから取り組みたい
4 きっかけがあれば取り組みたい
5 興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない
6 その他 ()
7 興味・関心は特にない

問19 あなたは、今後介護を必要とする状態にならないようにするため(または状態が悪くならないようにするため)、つぎのようなサービスを利用したいと思いませんか。(あてはまるものすべてに○)

1 保健師等によるアドバイス
2 ストレッチ、筋力向上トレーニング、バランス運動を行う教室
3 口腔衛生や口の体操などの教室
4 効率的な栄養摂取等を習得するための教室
5 認知症を予防するための教室
6 上記(1～5)で利用してみたいものはない

問20 つぎのサービスの中で、利用したいものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 定期的な電話や訪問などで安否確認をする見守りサービス
2 家事や通院などを手伝ってもらうサービス
3 緊急時に、無線発信機による通報で駆けつけてもらうサービス
4 緊急時に、介護施設や病院へ短期間入所(入院)できるサービス
5 杖やシルバーカーなど、生活に必要な用具を支給してもらえるサービス
6 自宅への配食などの食事サービス
7 介護予防・認知症予防のための講座が受けられるサービス
8 特にない

◆介護についてお聞きします。

問21 あなたの現在の要介護度は、つぎのうちどれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1 要支援1 | 2 要支援2 | 3 要介護1 | 4 要介護2 |
| 5 要介護3 | 6 要介護4 | 7 要介護5 | 8 わからない |

問22 あなたが、介護保険の要介護認定を申請した主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1 家事・調理、洗濯、掃除等が負担になってきたから | |
| 2 身の回りの行為が困難になってきたから | |
| 3 買い物や外出が負担になってきたから | |
| 4 通院等に手助けがほしくなくなってきたから | |
| 5 介護保険の施設入所を希望しているから | |
| 6 住宅改修または福祉用具購入を利用したいから | |
| 7 必要時にサービスを受けたいため、事前に認定申請した | |
| 8 自分の要介護度を知らたくて、申請した | |
| 9 医師、看護師から勧められたから | |
| 10 家族に勧められたから | |
| 11 友人・知人などに勧められたから | |
| 12 その他 () | |

問23 以下の介護保険サービスのうち、現在利用しているサービスに○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1 訪問介護 (ホームヘルプサービス) |
| 2 訪問入浴介護 |
| 3 訪問リハビリテーション |
| 4 訪問看護 |
| 5 居宅療養管理指導 |
| 6 通所介護 (デイサービス) |
| 7 通所リハビリテーション (デイケア) |
| 8 短期入所生活介護 (ショートステイ) |
| 9 短期入所療養介護 (医療型ショートステイ) |
| 10 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等) |
| 11 福祉用具貸与・購入 |
| 12 住宅改修 |
| 13 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) |
| 14 介護老人保健施設 |
| 15 介護療養型医療施設 |
| 16 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (24時間対応の訪問サービス) |
| 17 夜間対応型訪問介護 |
| 18 小規模多機能型居宅介護 (通い・訪問・泊まりなどを組み合わせたサービス) |
| 19 認知症対応型通所介護 |
| 20 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) |
| 21 いずれも利用していない (→問23-2へ進む) |

(問23で、1～20とお答えの方におたずねします。)

問23-1 あなたは、介護サービスを利用するようになって変わったことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------|
| 1 体が動くようになった |
| 2 すぐに疲れを感じなくなった |
| 3 筋肉や関節などの痛みが減った、感じなくなった |
| 4 自分もやればできる、という自信がついた |
| 5 食事が楽しくなった |
| 6 一緒に参加する仲間ができた |
| 7 人と接するのがおっくうでなくなった |
| 8 その他 () |
| 9 利用する以前と特に変わった点はない |

【次は問24へ進んでください】

(問 23 で、「21 いずれも利用していない」とお答えの方におたずねします。)

問 23-2 介護サービスを利用されていない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1	病院や診療所に入院中
2	家族等の介護がある
3	自分で身の回りのことをするよう努力している
4	介護サービスを使うほど具合が悪くない
5	できるだけ他人の世話になりたくない
6	介護サービスの使い方がわからない
7	利用しようとしたが、事業者から断られた
8	使いたい介護サービスがない
9	近くに介護サービス事業者がない
10	他人が家に入ることに抵抗がある
11	介護サービスの料金が安い
12	介護保険外のサービスを使っている
13	介護保険制度に不満がある
14	その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問 24 あなたは、要介護度が高くなったり、脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期療養が必要になったりした場合でも、病院等への入院・入所はしないで、自宅で生活したいと思いませんか。(○は1つ)

1	そう思う
2	そう思わない
3	わからない
4	その他 ()

(→問 25 へ進む)

(問 24 で、「1 そう思う」とお答えの方におたずねします。)

問 24-1 どのような在宅サービスを利用すれば、今の家での生活を続けられると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	日中、夜間を通じて、定期的に自宅で食事・入浴などの介助をしてもらい、緊急時にも電話や訪問で対応してもらうサービス (定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
2	日中、自宅で食事・入浴などの介助をしてもらうサービス (訪問介護)
3	自宅で専門家にリハビリをしてもらうサービス (訪問リハビリテーション)
4	自宅で看護師に床ずれの手当てや点滴の管理をしてもらうサービス (訪問看護)
5	自宅で専門家に薬の飲み方や食事などの管理・指導をしてもらうサービス (居宅療養管理指導)
6	施設へ通うことを中心に、自宅へ訪問してもらったり、施設へ泊まったりと、柔軟に対応してくれるサービス (小規模多機能型居宅介護)
7	施設へ通い、日帰りで食事・入浴の介助やリハビリをしてもらうサービス (通所介護・通所リハビリテーション)
8	施設に短期間入所して、食事・入浴の介助やリハビリをしてもらうサービス (短期入所生活介護・短期入所療養介護)
9	手すりやベッド、車いすなどを貸してくれるサービス
10	入浴用のいすや手すりなどを買う費用を補助してくれるサービス
11	自宅をバリアフリーにするための工事費用を補助してくれるサービス
12	その他 ()
13	特にない

問 24-2 あなたは、在宅での療養は実現可能だと思いますか。(○は1つ)

1	難しいと思う
2	可能だと思う
3	わからない
4	その他 ()

(→問 25 へ進む)

(問 24-2 で、「1 難しいと思う」とお答えの方におたずねします。)

問 24-3 それはなぜですか。(○は3つまで)

1	家族等に負担をかけるから
2	急に病状が変わったときの対応が不安だから
3	在宅でどのような医療や介護を受けられるかわからないから
4	療養できる居住環境が整っていないから
5	介護してくれる家族がいないから
6	在宅医療や介護のサービス体制が整っていないから
7	その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問 25 あなたは、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス(24 時間対応の訪問サービス)をご存知ですか。(○は1つ)

ここからは介護をしている方(介護者)におたずねする質問です。

問 41 主に介護している方は、あて名のご本人のご家族ですか。(○は1つ)
 1 家族である (→問 41-1へ進む)
 2 家族ではない →以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

(問 41 で「1 家族である」とお答えの方におたずねします。)
 問 41-1 あて名のご本人を主に介護しているご家族の性別・年齢・続柄について、あてはまるものそれぞれに○をつけてください。(○は1つずつ)

性別 (○は1つ)	1 男性	2 女性
年齢 (○は1つ)	1 40 歳未満	2 40 歳代
	4 60 歳代	5 70 歳代
続柄 (○は1つ)	1 夫	2 妻
	4 娘	5 子の夫
	7 親	8 孫
	10 その他 ()	

問 42 あて名のご本人の介護期間を教えてください。(○は1つ)
 1 1 年未満
 2 1～3 年未満 | 3 3～5 年未満 || 4 5～8 年未満 | 5 8～10 年未満 | 6 10 年以上 |

問 43 あて名のご本人が介護サービスを利用されているとき、介護者ご自身はどのような感じですか。(あてはまるものすべてに○)

1 本人がうれしそうにしており、満足である
2 サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい
3 本人よりも介護者の方がサービス利用を増やしたい、と感じるときがある
4 本人と介護者として、サービス利用について意見が一致しないときがある
5 サービス利用後、本人が気分を害したり、具合が悪くなったりすることがあり、サービス内容等に不満がある
6 本人がサービス利用を嫌がることがあり、介護者としてつらいときがある
7 異性のスタッフの対応に不安を感じるときがある
8 その他 ()

問 44 在宅での介護について、困ったり、負担に感じていることはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

1 本人に正確な状況を伝えるのが難しい
2 来客の際に気を遣う
3 日中、家を空けるのを不安に感じる
4 本人の言動が理解できないことがある
5 本人に受診を勧めても同意してもらえない
6 適切な対応や介護方法がわからない
7 介護を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある
8 誰に、何を、どのように相談すればよいかわからない
9 家族や親族に介護を協力してもらえない
10 家の構造が介護をするのに適していない
11 サービスを利用したら本人の状態が悪化した (したことがある)
12 睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもしくない
13 身体的につらい (腰痛や肩こりなど)
14 精神的なストレスがたまっている
15 自分の用事を済ませることができない
16 自分の自由になる時間が持てない
17 先々のことを考える余裕がない
18 経済的につらいと感じたときがある
19 その他 ()
20 特に困っていることはない

問 45 介護をしていてつらい時、どこ(だれ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親族	2 近所の人
3 民生委員	4 ボランティア
5 介護家族の会などの集まり	6 社会福祉協議会
7 ケアマネジャー	8 医師・医療機関
9 在宅サービスを行っているホームヘルパー・訪問看護師など	10 高齢者相談センター
11 その他 ()	12 どこにも (誰にも) 相談していない

ご協力ありがとうございました。12月10日(火)までに同封の返信用封筒で
 ご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。
 なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

練馬区高齢者基礎調査

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。
特別養護老人ホームに入所申込みをされている皆さまには、待機期間が長期に及び、大変ご不便をおかけしています。

区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。
この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、特別養護老人ホームの入所待機者の皆さまを対象に、生活場所や申込みの理由、入所を希望する時期等の現在の状況およびニーズを把握させていただくために実施するものです。

調査の対象者として、区内にお住まいの特別養護老人ホームの入所待機者の方全員を対象に、調査票を送付させていただきます。なお、**調査票にはお名前を書き必要はありません。**

ん。

ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみ 사용됩니다。個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしませんので、ご協力いただけますようお願いいたします。

なお、この調査でお答えいただいた内容により、待機の順番が変わることはありませんので、ご了解ください。

平成 25 年 12 月 練馬区

この調査票はどなたが記入されますか。(○は1つ)

- 1 あて名のご本人が自分一人で記入
- 2 あて名のご本人に聞いて家族や介護者が代筆して記入
- 3 あて名のご本人の意向を考えながら家族や介護者が記入
(あて名のご本人からみた続柄：_____)
- 4 その他の方が記入 (具体的に書きください。)

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

● 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。

● 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、()内になるべく具体的にその内容を記入ください。

● 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人おひとりの回答がむずかしい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞いた上で代わりにご記入ください。
(調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。)

★ 対象者ご本人が不在や体調などの何らかの事情により回答できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

- | | |
|--------------------|-------|
| 1 入院・入所中で意思表示ができない | 3 その他 |
| 2 転居 | |

● ご記入いただいた調査票は、**12月17日(火)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

● この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

● この調査は、㈱日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。
【調査委託元】練馬区 健康福祉事業本部 福祉部 高齢社会対策課 計画係
【調査実施・問い合わせ先】

㈱日本能率協会総合研究所 社会政策研究部 担当：田中、政岡
電話：03-3578-7519(直通)

問11 以下の介護保険サービスのうち、現在利用しているサービスに○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

1	訪問介護 (ホームヘルプサービス)
2	訪問入浴介護
3	訪問リハビリテーション
4	訪問看護
5	居宅療養管理指導
6	通所介護 (デイサービス)
7	通所リハビリテーション (デイケア)
8	短期入所生活介護 (ショートステイ)
9	短期入所療養介護 (医療型ショートステイ)
10	特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等)
11	福祉用具貸与・購入
12	住宅改修
13	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)
14	介護老人保健施設
15	介護療養型医療施設
16	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (24時間対応の訪問サービス)
17	夜間対応型訪問介護
18	小規模多機能型居宅介護 (通い・訪問・泊まりなどを組み合わせたサービス)
19	認知症対応型通所介護
20	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)
21	いずれも利用していない (→問13へ進む)

(問11で、1～20とお答えの方におたずねします。)

問12 現在、介護保険サービスの支給限度額に対して、どの程度利用していますか。(○は1つ)

1	自費負担分を含めて限度額以上に利用している
2	ほとんど限度額いっぱい利用している
3	限度額まで利用していない (→問12-1へ進む)
4	わからない

(問12で、「3 限度額まで利用していない」とお答えの方におたずねします。)

問12-1 限度額まで利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	利用中のサービスで間に合っているから
2	家族介護により、多く利用せずに済んでいるから
3	利用料の負担が大きくなるから
4	希望するサービスが利用できないから
5	他に利用したいサービスがないから
6	その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問13 あなたは、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス(24時間対応の訪問サービス)をご存知ですか。(○は1つ)

1	知っている
2	知らない

問14 あなたは、小規模多機能型居宅介護サービス(通い・訪問・泊まりなどを組み合わせたサービス)をご存知ですか。(○は1つ)

1	知っている
2	知らない

問15 あなたが、現在特別養護老人ホーム以外に申し込みされている施設、もしくは、今後利用を検討している施設等がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	介護老人保健施設	2	一般の病院 (医療保険での入院)
3	介護療養型医療施設	4	認知症高齢者グループホーム
5	有料老人ホーム	6	ケアハウス・軽費老人ホーム
7	サービス付き高齢者向け住宅	8	その他 ()
9	特になし (→問15-2へ進む)		

(問15で、申し込みをしているまたは利用を検討している施設があるとお答えの方におたずねします。)

問15-1 このような施設等を利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	将来の介護に不安を感じるため
2	ひとりぐらで介護する同居の家族がいないため
3	家族が働いており、介護する家族がいないため
4	家族が精神的・身体的に疲れているため
5	現在の住居がバリアフリー化されていないため
6	その他 ()

(問15で、「9 特になし」とお答えの方におたずねします。)

問15-2 このような施設等の申込みをしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	すでに特別養護老人ホーム以外の施設に入所しているため
2	特別養護老人ホーム以外の施設がわからないため
3	特別養護老人ホーム以外の施設は経済的に入れないため
4	特別養護老人ホーム以外の施設では希望するサービスを受けられないため
5	入所待ちの期間を見込んで早めに申し込んだが、現在は自宅で生活できるため
6	その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問16 特別養護老人ホームの入所を最初に申し込んだのはいつですか。

平成 年 月

問17 あなたが入所したい特別養護老人ホームは、どのタイプですか。(○は1つ)

- 1 多床室 (2～4人部屋で、費用が安い)
- 2 従来型個室
(共用のリビングを併設していない個室で、多床室に比べて費用が高い)
- 3 ユニット型個室
(共用のリビングを併設している個室で、従来型個室に比べて費用が高い)
- 4 どちらでも良い

問18 前問のご回答の理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから
- 2 希望に合った形の介護を受けられるから
- 3 費用負担の面を考慮して
- 4 急な体調の変化など、緊急の際に安心だから
- 5 入居したいと考えている施設がそのタイプだから
- 6 なるべく早く入居したいから
- 7 特にこだわりがないから
- 8 その他 ()

問19 あなたが特別養護老人ホームを申し込んだ理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- 1 将来の介護に不安を感じるため
- 2 ひとりぐらしで介護する同居の家族がいないため
- 3 家族が働いており、介護する家族がいないため
- 4 家族が精神的・身体的に疲れているため
- 5 現在の住居がバリアフリー化されていないため
- 6 ショートステイ (短期入所生活介護) が必要なきに使用しないため
- 7 デイサービス (通所介護) が必要なきに使用しないため
- 8 24時間のホームヘルプサービス (訪問介護) が必要なきに使用しないため
- 9 現在の在宅サービスの内容に不満があるため
- 10 その他 ()

問20 あなたが特別養護老人ホームに期待することは何か。(あてはまるものすべてに○)

- 1 専門的な介護が受けられること
- 2 24時間体制で介護が受けられること
- 3 掃除、洗濯等の家事を代わりにやってくれること
- 4 防犯、防災面で安心できること
- 5 孤独にならないこと
- 6 在宅の介護サービスより費用が安くなること
- 7 その他 ()
- 8 特にない

問21 あなたは、区外の特別養護老人ホームに申し込んでいますか。(○は1つ)

- 1 申し込んでいます
- 2 申し込んでいない (→問22へ進む)

(問21で、「1 申し込んでいます」とお答えの方におたずねします。)

問21-1 申し込んでいます特別養護老人ホームはどこにありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 都内 (23区内)
- 2 都内 (23区外)
- 3 埼玉県
- 4 千葉県
- 5 神奈川県
- 6 その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問22 申し込んでいます特別養護老人ホームから「入所できます」という連絡がきた場合、あなたは入所しますか。(○は1つ)

- 1 すぐに入所する
- 2 複数の施設に申し込んでおり、最も希望する施設であれば入所する
- 3 すぐには決められない
- 4 まだ自宅で暮らせるため、お断りする

問23 あなたが希望する在宅サービスの提供や制度の充実が見込まれれば、自宅での生活を希望しますか。(○は1つ)

- 1 ぜひ、今の家で生活を続けたい
- 2 可能な限り今の家で生活を続けたい
- 3 いつかは特別養護老人ホームに入所したい
- 4 1年以内に特別養護老人ホームに入所したい
- 5 すぐに特別養護老人ホームに入所したい

(問 23 で、1～3 とお答えの方におたずねします。)

問 23-1 どのような在宅サービスを利用すれば、今の家で生活を続けられると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|---|
| 1 | 日中、夜間を通じて、定期的に自宅で食事・入浴などの介助をしてもらい、緊急時にも電話や訪問で対応してもらうサービス (定期巡回・随時対応型訪問介護看護) |
| 2 | 日中、自宅で食事・入浴などの介助をしてもらうサービス (訪問介護) |
| 3 | 自宅で専門家にリハビリをしてもらうサービス (訪問リハビリテーション) |
| 4 | 自宅で看護師に床ずれのケアや点滴の管理をしてもらうサービス (訪問看護) |
| 5 | 自宅で専門家に薬の飲み方や食事などの管理・指導をしてもらうサービス (居宅療養管理指導) |
| 6 | 施設へ通うことを中心に、自宅へ訪問してもらったり、施設へ泊まったりするなど、柔軟に対応してくれるサービス (小規模多機能型居宅介護) |
| 7 | 施設へ通い、日帰りで食事・入浴の介助やリハビリをしてもらうサービス (通所介護・通所リハビリテーション) |
| 8 | 施設に短期間入所して、食事・入浴の介助やリハビリをしてもらうサービス (短期入所生活介護・短期入所療養介護) |
| 9 | 手すりやベッド、車いすなどを貸してくれるサービス |
| 10 | 入浴用いすなどの購入や手すりなどの設置工事の費用を補助してくれるサービス |
| 11 | 自宅をバリアフリーにするための工事費用を補助してくれるサービス |
| 12 | その他 () |
| 13 | 特にない |

(すべての方におたずねします。)

問 24 介護保険料は、区全体の介護サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに決まります。介護保険のサービスと保険料の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がよい |
| 2 | 施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とする |
| 3 | サービスの量が低下しても、保険料は安い方がよい |
| 4 | わからない |

問 25 あなたは、介護保険料についてどのように感じていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------------|---|----------|
| 1 | 負担と感じる | 2 | 多少負担と感じる |
| 3 | それほど負担とは感じない | 4 | 負担とは感じない |
| 5 | どちらともいえない | 6 | わからない |

問 26 あなたは、介護サービスの利用料(食費や娯楽費等の実費負担は除く)についてどのように感じていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------------|---|----------|
| 1 | 負担と感じる | 2 | 多少負担と感じる |
| 3 | それほど負担とは感じない | 4 | 負担とは感じない |
| 5 | どちらともいえない | 6 | わからない |

問 27 あなたは、現在、つぎにあげられるような医療器具を利用したり、医療処置を受けたりしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|----|----------|----|------------|
| 1 | 胃ろう・経管栄養 | 2 | 気管切開 |
| 3 | インスリン注射 | 4 | 尿管カテーテル |
| 5 | 人工肛門 | 6 | 在宅酸素 |
| 7 | ペーシング | 8 | 人工透析 |
| 9 | たんの吸引 | 10 | 褥瘡(床ずれ)の処置 |
| 11 | その他 () | 12 | あてはまるものはない |

問 28 平成 24 年に介護保険制度が変わったことによる影響はありましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | ケアプランが見直され、これまで利用していたサービスが使えなくなったり |
| 2 | ケアプランが見直され、以前よりきめ細やかなサービスを受けられるようになった |
| 3 | サービス利用料が増えた |
| 4 | サービス利用料が減った |
| 5 | サービス提供時間が変わり、十分なサービスを受けられなくなった |
| 6 | サービス提供時間が変わり、十分なサービスを受けられるようになった |
| 7 | その他 () |
| 8 | 特にない |

問 29 あなたは、保健福祉や介護保険に関する知識・情報を何から得ていますか。

(○は3つまで)

- | | |
|----|------------------------------|
| 1 | ねりま区報 |
| 2 | 練馬区ホームページ |
| 3 | 高齢者相談センター (地域包括支援センター) |
| 4 | 「わたしの便利帳」(高齢者の生活ガイド) など区の刊行物 |
| 5 | 高齢者向けホームページ「シニア ナビ ねりま」 |
| 6 | 社会福祉協議会の相談窓口 |
| 7 | 回覧板・掲示板 |
| 8 | 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ |
| 9 | インターネット |
| 10 | 家族・友人 |
| 11 | 病院などの医療機関 |
| 12 | その他 () |
| 13 | 特にない |

問34 在宅での介護について、困ったり、負担に感じていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人に正確な症状を伝えるのが難しい
- 2 来客の際に気を遣う
- 3 日中、家を空けるのを不安に感じる
- 4 本人の言動が理解できないことがある
- 5 本人に受診を勧めても同意してもらえない
- 6 適切な対応や介護方法がわからない
- 7 介護を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある
- 8 誰に、何を、どのように相談すればよいかわからない
- 9 家族や親族に介護を協力してもらえない
- 10 家の構造が介護するのに適していない
- 11 サービスを利用したら本人の状態が悪化した(したことがある)
- 12 睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもしくない
- 13 身体的につらい(腰痛や肩こりなど)
- 14 精神的なストレスがたまっている
- 15 自分の用事を済ませることができない
- 16 自分の自由になる時間が持てない
- 17 先々のことを考える余裕がない
- 18 経済的につらいと感じたときがある
- 19 その他()
- 20 特に困っていることはない

問35 介護をしていてつらい時、どこ(だれ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・親族
- 2 近所の人
- 3 民生委員
- 4 ボランティア
- 5 介護家族の会などの集まり
- 6 社会福祉協議会
- 7 ケアマネジャー
- 8 医師・医療機関
- 9 在宅サービスを行っているホームヘルパー・訪問看護師など
- 10 高齢者相談センター
- 11 その他()
- 12 どこにも(誰にも)相談していない

問36 介護者ご自身の視点から、特別養護老人ホームを申し込んだ理由は何か。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 将来の介護に不安を感じるため
- 2 働いており介護する家族がいないため
- 3 高齢あるいは病弱で、介護が困難なため
- 4 精神的に疲れているため
- 5 身体的に疲れているため
- 6 在宅サービスを使いたくないため
- 7 地域に十分な介護サービス事業者がいないため
- 8 本人がひとりぐらして、介護する同居の家族がいないため
- 9 ショートステイ(短期入所生活介護)が必要なくさいに使用するため
- 10 デイサービス(通所介護)が必要なくさいに使用するため
- 11 24時間のホームヘルプ(訪問介護)サービスが必要なくさいに使用するため
- 12 現在の在宅サービスの内容に不満があるため
- 13 その他()
- 14 特にない

問37 介護者ご自身の視点から、特別養護老人ホームに期待することは何か。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 専門的な介護が受けられること
- 2 24時間体制で介護が受けられること
- 3 掃除、洗濯などの家事を代わりにやってくれること
- 4 防犯、防災面などで安心できること
- 5 孤独にならないこと
- 6 在宅の介護サービスより費用が安くなること
- 7 その他()
- 8 特にない

ご協力ありがとうございました。12月17日(火)までに同封の返信用封筒で
ご返送ください。切手は不要です。そのままご投函ください。

なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

練馬区介護サービス事業所調査

◆ 調査への協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、区内で介護サービスを提供されているすべての事業所を対象に、事業展開の現状と今後、介護保険制度の見直し等に関するご意見・ご要望等をお聞きするため実施するものです。ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみに使用します。事業所が特定される形の公表や、他の目的での使用はいたしませんので、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成 25 年 11 月 練 馬 区

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- 調査票は、送付した封筒の宛名に記載されているサービス種別ごとに発送しています。複数の調査票をお届けした事業所においては、お手数ですが、サービス種別ごとに調査票を作成してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、()内になるべく具体的にその内容を記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、**12月10日(火)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。
- この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。
- この調査は、㈱日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。
【調査委託元】練馬区 健康福祉事業本部 福祉部 高齢社会対策課 計画係
【調査実施・問い合わせ先】

㈱日本能率協会総合研究所 社会政策研究部 担当：田中、政岡
電話：03-3578-7519(直通)

◆ 機関・組織についてお聞きします。

問1 貴事業所が現在実施しているサービスは、つぎのどれですか。(○は1つ)

1 居宅介護支援	2 (介護予防)訪問介護
3 (介護予防)訪問入浴介護	4 (介護予防)訪問看護
5 (介護予防)訪問リハビリテーション	6 (介護予防)居宅療養管理指導
7 (介護予防)通所介護	8 (介護予防)通所リハビリテーション
9 (介護予防)短期入所生活介護	10 (介護予防)短期入所療養介護
11 (介護予防)福祉用具貸与・販売	12 (介護予防)特定施設入居者生活介護
13 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	14 夜間対応型訪問介護
15 (介護予防)認知症対応型通所介護	16 (介護予防)小規模多機能型居宅介護
17 (介護予防)認知症対応型共同生活介護	18 介護老人福祉施設
19 介護老人保健施設	20 介護療養型医療施設

問2 運営主体は、つぎのどれですか。(○は1つ)

1 企業(株式会社・有限会社等)	2 社会福祉法人
3 医療法人	4 NPO法人
5 その他()	

問3～問13は、居宅介護支援事業所の方への質問です。居宅介護支援事業所以外の方は5ページの問14へ進んでください。

居宅介護支援事業所の方にお聞きします。

問3 地域密着型サービスのうち、今後さらに整備が必要と思われるサービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2 夜間対応型訪問介護
3 小規模多機能型居宅介護	4 認知症対応型通所介護
5 認知症対応型共同生活介護	6 地域密着型介護老人福祉施設
7 地域密着型特定施設入居者生活介護	8 複合型サービス
9 特に必要はない	

問4 小規模多機能型居宅介護の必要性について、どう思いますか。(○は1つ)

1 必要なサービスである	2 必要性を感じていない
3 どちらともいえない	

問5 貴事業所では、小規模多機能型居宅介護には、どのように対応していますか。(○は1つ)

- 1 利用者からの問い合わせがあった場合は小規模多機能型居宅介護事業所の連絡先の紹介を行っている
- 2 利用者からの問い合わせがあった場合は小規模多機能型居宅介護事業所に連絡を取り、利用者を紹介している
- 3 自法人内で実施している、まずそこを紹介している
- 4 その他 ()
- 5 特に具体的な対応はしていない

問6 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の必要性について、どう思いますか。(○は1つ)

- 1 必要なサービスである
- 2 必要性を感じていない
- 3 どちらともいえない

問7 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の課題は何だと思いますか。

- (あてはまるものすべてに○)
- 1 利用者がサービスの内容や利用方法を知らない
 - 2 ケアマネジャーがサービスの内容や利用方法を知らない
 - 3 要支援1・2の方の利用ができない
 - 4 夜間対応型訪問介護のサービスで十分である
 - 5 夜間の訪問介護のニーズは少ない
 - 6 利用者の家の鍵を事業者に預けるなど、夜間に事業者が訪問することに不安がある
 - 7 よくわからない
 - 8 その他 ()

問8 都市型軽費老人ホームの必要性について、どう思いますか。(○は1つ)

- 1 必要なサービスである
- 2 必要性を感じていない
- 3 どちらともいえない

問9 区内のケアマネジャーの質についてどのように感じていますか(貴事業所のケアマネジャーを含む)。(○は1つ)

- 1 区全体の質は高いと思う
- 2 区全体の質は標準的だと思う
- 3 区全体の質は低いと思う
- 4 個人による差が大きく、一概には言えない
- 5 その他 ()
- 6 わからない

問10 ケアマネジャーの質の向上を図るために必要だと思われることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 レベルや経験年数、テーマ別の研修
- 2 事業所でのOJT (職場内研修)
- 3 ペテランのケアマネジャーによる指導
- 4 事例を使った検討会
- 5 個人の意識の向上
- 6 その他 ()

問11 貴事業所のケアマネジャーの質の向上における課題は何ですか。

- (あてはまるものすべてに○)
- 1 業務多忙のため、研修を受講する時間がない
 - 2 講師、内容、費用等の面で魅力的な研修内容がない
 - 3 事業所でのOJT (職場内研修)の体制が整っていない
 - 4 地域の課題を把握しきれていない
 - 5 その他 ()

問12 貴事業所では、高齢者相談センターや支所とどのような連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 地域支援事業での連携
- 2 介護支援専門員に対する日常的な個別指導・相談
- 3 地域における介護支援専門員のネットワーク
- 4 支援困難事例についての個別指導・相談
- 5 支援を必要とする高齢者の早期発見・情報共有
- 6 高齢者虐待や権利擁護についての相談や情報交換など
- 7 その他 ()
- 8 特にない

問13 宿泊サービスについて、どう思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 特別養護老人ホームやショートステイ等の代替(つなぎ)として利用者に勧めている
- 2 法外のサービスであり、サービスの質の維持が保証できないため勧めていない
- 3 消防・防災設備等が劣悪なところがあり、利用者の安全面で不安がある
- 4 宿泊時間帯の人員体制等に不安がある
- 5 利用者の困り込みなどの貧困ビジネスになりかねない
- 6 その他 ()

すべての事業所の方にお聞きします。

◆苦情対応についてお聞きします。

問 14 サービス提供困難時(利用者からの過大な要求等)には、どのように対応していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 関係する事業所(居宅介護支援事業部門など)に連絡を取り、適切な対応を図っている
- 2 行政等と連携をとり、適切な対応を図っている
- 3 他の指定介護事業所を紹介している
- 4 その他()

問 15 苦情への対応窓口の存在を利用者に示していますか。(○は1つ)

- 1 文書で明確に示している
- 2 口頭など何らかの形で示している
- 3 示していない
- 4 その他()

問 16 直近1年間で、利用者からどのような苦情を受けましたか。(○は3つまで)

- 1 サービス利用時間が短い
- 2 サービス利用回数が少ない(減った)
- 3 サービスの種類が少ない
- 4 サービス内容に不満がある
- 5 サービスが利用しづらい
- 6 サービス提供スタッフが不満がある
- 7 その他()
- 8 特に目立つ苦情はない

問 17 寄せられた苦情をどのように対応しましたか。(○は1つ)

- 1 事業所内ではほぼ対応した
- 2 内部で解決できないものについては、関係機関へ連絡を取るなど、連携して対応した
- 3 その他()

◆サービスの質の向上についてお聞きします。

問 18 貴事業所では、サービスの第三者評価を受審していますか。つぎのうち、受審された種類をお答えください。

(1つに○) (あてはまるものすべてに○)

- 1 受審している (受審した評価方式) 1 東京都福祉サービス評価機構
- 2 受審していない
- 2 その他()

問 19 サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している
- 2 事故防止のためにヒヤリ・ハット事例の収集・共有を図っている
- 3 利用者や家族に対し満足度調査を行っている
- 4 積極的に外部評価を受けている(ISO、第三者評価など)
- 5 独自の自己評価を実施している
- 6 管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している
- 7 現場のスタッフが自発的に多問題事例(介護以外の生活問題など)に関するケース検討会などを行っている
- 8 現場スタッフが任せている
- 9 意見箱を設置している
- 10 各種研修会、学習会・セミナーの実施や参加
- 11 その他()
- 12 特に行っていない

問 20 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る事故(例・転倒・誤嚥)について、貴事業所で事故防止や、同様の事故を繰り返さないために講じている取り組みはどのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 事故防止マニュアルの作成
- 2 事故防止研修の実施
- 3 ヒヤリ・ハット報告の徹底
- 4 事故発生時の対応マニュアルの作成
- 5 応急処置技能研修の実施
- 6 感染症予防マニュアルの作成
- 7 その他()
- 8 特にない

◆地域との関わりについてお聞きします。

問 21 貴事業所では、地域の各種団体や組織(民生委員、町会・自治会、地区社協等)との関わりはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 事業所(施設も含む)の近隣の団体や組織との関わりがある
- 2 利用者の居住地域の団体や組織との関わりがある
- 3 特にない(→問22へ進む)

(問21で、1または2とお答えの事業所におたずねします。)

問21-1 それは、どのような団体・組織ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 民生委員
- 2 町会・自治会
- 3 小・中学校
- 4 老人クラブ
- 5 社会福祉協議会
- 6 商店、商店街
- 7 ボランティア・NPO団体
- 8 マンション・団地の管理組合
- 9 その他()

問21-2 前問の団体・組織とは、どのように関わっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	介護や福祉についての専門知識や情報の提供・共有
2	地域の集まりへの参加
3	事業所側の催しへの招待（施設内の行事等）
4	事業所（施設）内の機能の開放（会議室等）
5	その他（ ）

（すべての事業所におたずねします。）

問22 練馬区介護サービス事業者連絡協議会（区内介護サービス事業所で構成される団体）に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	サービスの質の向上に関する取組み
2	区や事業者間の連携強化に関する取組み
3	介護従事者の労務環境の向上に関する取組み
4	職員の質の向上のための研修の充実
5	その他（ ）
6	特にない

◆事業所運営についてお聞きします。

問23 貴事業所では、要医療、認知症、障害等を有する利用者に対して、どのような対応を図っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	専門スタッフを配置している
2	専門の関係機関と常に連携をとり、緊急時の対応ができるようにしている
3	人材の募集・確保を図っている
4	特段の対応は図っていない
5	その他（ ）

問24 貴事業所では、要介護者が在宅生活を継続するためにはどのような条件が必要と考えますか。(あてはまるものすべてに○)

1	専門的なサービスの開発と提供
2	現行のサービスの提供量の拡大
3	利用者本人の自立生活志向を高める支援
4	介護者の身体的・精神的な負担の軽減
5	地域保健福祉関係機関との連携
6	訪問診療可能なかかりつけ医の存在
7	新サービスの創設（24時間対応サービスなど）
8	その他（ ）

問25 貴事業所では、ターミナルケアへの対応はどのようなようにお考えですか。(○は1つ)

1	すでに実施している	2	検討段階である
3	対応は考えていない	4	その他（ ）

問26 貴事業所では、介護職員によるたんの吸引および経管栄養などの医療的ケアへの対応はどのようなようにお考えですか。(○は1つ)

1	すでに実施している	2	検討段階である
3	対応は考えていない	4	その他（ ）

問27 医療機関との連携について、貴事業所として取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている
2	往診をしてくれる医師・医療機関がある
3	急変時の受入を依頼できる病院を確保している
4	提携病院があり、入院を受け入れてもらっている
5	職員への研修講師などをお願いしている
6	ケースカンファレンスへの参加
7	緊急時の対応
8	その他（ ）
9	法人内で医療機関も経営しており、連携の問題はない
10	特にない

問28 医療機関との連携を進めるうえでの課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	医療機関の協力が得られない
2	情報共有システムが確立されていない
3	共有すべき情報がわからない
4	連携のための事務負担が大きい
5	連携の必要性を感じていない
6	その他（ ）

問29 大地震などの大規模災害が発生した際の利用者の安否確認等について、どのような取組みを考えていますか。(○は1つ)

1	現時点においては取組みを考えていない	} (→問30へ進む)
2	取組みを行う予定はあるが、まだ検討していない	
3	検討を始めている	
4	すでに取組みを想定済みである	

(問 29 で、3 または 4 とお答えの事業所におたずねします。)

問 29-1 取組みの内容をお教えください。(○は1つ)

- 1 安否確認用の名簿の作成
- 2 安否確認訓練の実施
- 3 その他 ()

(すべての事業所におたずねします。)

問 30 事業を運営する上での課題は何ですか。(○は3つまで)

- 1 新規利用者の獲得が困難
- 2 利用者 1 人あたりの利用料が少ない
- 3 設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに応えられない
- 4 利用者や家族が介護保険制度やサービスをよく理解していない
- 5 利用者の身体状況の把握が難しい
- 6 利用者からの苦情や事故への対応
- 7 訪問や送迎が非効率 (エリアが広い等)
- 8 入居者の認知症が重度化した場合の対応
- 9 スタッフの確保
- 10 スタッフが短期間で離職してしまう
- 11 スタッフの人材育成
- 12 責任者など中堅人材の確保・育成
- 13 他のサービス事業所との競合が激しい
- 14 他職種との連携
- 15 他のサービス事業所との連携
- 16 医療機関との連携
- 17 介護報酬が低い
- 18 その他 ()
- 19 特に課題はない

◆人材の確保・育成についてお聞きます。

問 31 貴事業所の職員の過不足状況についておたずねします。(○は1つ)

- 1 過剰
- 2 適正
- 3 やや不足
- 4 不足
- 5 大いに不足

問 32 貴事業所では、介護人材の確保については、どのように取り組んでいますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 新聞広告等に求人募集を出す
- 2 ハローワークに求人募集を出す
- 3 練馬介護人材育成・研修センターの仕事セミナーや面接会に参加する
- 4 大学、専門学校等に求人募集を出す
- 5 知人等関係者からの紹介
- 6 他事業所や施設の職員などを勧誘
- 7 その他 ()

問 33 貴事業所において、特に確保の困難な職種は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 サービス提供責任者
- 2 介護支援専門員
- 3 ホームヘルパー
- 4 介護職 (ヘルパー及び介護福祉士以外)
- 5 保健師
- 6 看護師・准看護師
- 7 社会福祉士
- 8 介護福祉士
- 9 理学療法士
- 10 作業療法士
- 11 管理栄養士
- 12 事務職員
- 13 相談員
- 14 医師
- 15 栄養士
- 16 機能訓練指導員
- 17 薬剤師
- 18 その他 ()

問 34 貴事業所では、どのような研修や資格取得支援などを行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 事業所内での新規人材確保のための資格取得支援の研修 (採用前)
- 2 事業所内での採用時研修 (新任研修)
- 3 事業所内での資格取得支援の研修 (既採用職員向け)
- 4 事業所内での定期的な現任研修の実施
- 5 事業所内での事例検討会や、外部研修受講者による報告会
- 6 練馬介護人材育成・研修センターが実施する研修等への参加を奨励
- 7 練馬ケアマネジャー連络会が実施する研修等への参加を奨励
- 8 練馬区介護サービス事業者連络協議会が実施する研修等への参加を奨励
- 9 高齢者相談センターが実施する研修等への参加を奨励
- 10 東京都社会福祉協議会が実施している研修等への参加を奨励
- 11 その他民間団体が実施している研修等への参加を奨励
- 12 研修等へ参加する際に、業務として勤務時間中に参加させている
- 13 有料の研修等へ参加する際の受講費用を補助
- 14 資格試験に合格した場合、受験料や登録費用等を負担する
- 15 その他 ()

問 35 従業員の研修・教育等に関して困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|-------------------------|
| 1 | 人材育成のための時間がない |
| 2 | 人材育成のための費用に余裕がない |
| 3 | 従業員の自己啓発への意欲が低い |
| 4 | 事業者や法人内における人材育成の優先順位が低い |
| 5 | 指導をできる人材が少なく、または、いない |
| 6 | 採用時期が別々で効率的な育成ができない |
| 7 | 育成してもすぐに辞めてしまう |
| 8 | 研修を受講させる人的な余裕がない |
| 9 | その他 () |
| 10 | 特になし |

問 36 貴事業所では、従業員の早期離職防止や定着促進のためにどのような方策をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|--------------------------------|
| 1 | 労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いている |
| 2 | 育児・介護等の休暇制度の活用を奨励している |
| 3 | 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している |
| 4 | 心身の健康管理に力を入れている |
| 5 | 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている |
| 6 | キャリアに応じた給与体系を整備している |
| 7 | 新人の指導担当・アドバイザーを置いている |
| 8 | 子育て支援(託児所を設ける、保育費用の助成など)を行っている |
| 9 | その他 () |
| 10 | 特に何もしていない |

問 37 貴事業所では、介護職員処遇改善加算を活用していますか。(○は1つ)

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 活用している (→問 37-1、問 37-2へ進む) |
| 2 | 活用していない (→問 37-3へ進む) |

(問 37 で、「1 活用している」とお答えの事業所におたずねします。)

問 37-1 貴事業所では、介護職員処遇改善加算をどのように活用しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|----------------------------|
| 1 | 基本給の引き上げ |
| 2 | 諸手当(役職手当・精勤手当・資格手当など)の新設 |
| 3 | 諸手当(役職手当・精勤手当・資格手当など)の引き上げ |
| 4 | 従業員の増員による業務負担軽減 |
| 5 | 労働時間・労働日数の適正化 |
| 6 | 昇進・昇格要件の明確化 |
| 7 | 非常勤従業員の常勤への登用 |
| 8 | 教育研修の充実 |
| 9 | 福利厚生の充実 |
| 10 | その他 () |
| 11 | 特になし |

問 37-2 介護職員処遇改善加算の活用により、職員の離職防止に効果があると思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|---|----------|
| 1 | とても効果がある |
| 2 | 効果がある |
| 3 | あまり効果がない |
| 4 | 効果がない |
| 5 | わからない |

(問 37 で、「2 活用していない」とお答えの事業所におたずねします。)

問 37-3 活用していない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|----------------|
| 1 | 書類手続等が複雑だから |
| 2 | 書類の書き方がわからないから |
| 3 | 日常の業務が忙しいから |
| 4 | 加算の必要性を感じないから |
| 5 | その他 () |

(すべての事業所におたずねします。)

問 38 貴事業所はキャリアパスを作成していますか。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 作成している (→問 39へ進む) |
| 2 | 作成していない (→問 38-1、問 38-2へ進む) |

(問 38 で、「2 作成していない」とお答えの事業所におたずねします。)

問 38-1 作成していない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|---------------|---|----------------|
| 1 | 書類手続等が複雑だから | 2 | 書類の書き方がわからないから |
| 3 | 日常の業務が忙しいから | 4 | 加算の必要性を感じないから |
| 5 | 法人規模等になじまないから | 6 | その他 () |

